

研究に関するお知らせ

— 原発性ネフローゼ症候群および ANCA 関連腎炎の患者さんへ —

金沢医科大学病院では、原発性ネフローゼ症候群および ANCA 関連腎炎の患者さんの病態を解明し、診断および治療法を確立することを目的として、以前に採取させて頂いた血液、尿および腎生検組織を研究目的で使用する場合があります。このような研究は倫理委員会の審査を受け、承認された後に関連の研究倫理指針に従って実施されます。

研究参加期間: 倫理委員会審査承認後 ~ 2020 年 12 月 31 日

【研究課題】 原発性糸球体疾患新規バイオマーカーとしての尿中 SMPDL-3b の有用性の検討

【研究目的】 最近の基礎および臨床研究において、SMPDL-3b という分子が糸球体疾患の蛋白尿を制御するうえで重要な役割を演じている可能性が指摘されています。本研究は、尿 SMPDL-3b 排泄量が糸球体疾患の病勢評価や腎予後予測に役立つかバイオマーカーとなりうるか検証することを目的としています。本研究の遂行により、糸球体疾患の病態解明および尿 SMPDL-3b 排泄量を指標とした新たな診療指針の確立が期待できます。

【対象・研究方法】 対象となる患者さんは、当院で 2004 年から 2017 年の間に原発性ネフローゼ症候群(微小変化型ネフローゼ症候群、巣状分節性糸球体硬化症、膜性腎症)あるいは ANCA 関連腎炎と診断され、治療を受けておられる方です。腎臓内科医局に保存してある尿検体および腎生検組織検体を用いて尿中 SMPDL-3b 排泄量および腎組織 SMPDL-3b 発現を測定し、カルテ診療情報に記録されているこれまでの臨床経過との関連性について統計学的に解析します。今後、本研究のために新たに予定されている検査はなく、すでに採取させていただいた尿・血液理学所見および腎生検検体を使用させていただきます。研究全体として約 60 人の患者さんの検査情報の収集を予定しております。

【研究機関名】 金沢医科大学病院

【個人情報の取り扱い】 収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を除いて匿名化いたしますので、個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

【その他】 この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。本研究では保存検体を用いて尿 SMPDL-3b 排泄量や免疫蛍光染色法による腎生検組織 SMPDL-3b 発現の評価などの特殊検査を行いますが、これら保険適応外検査の費用は全て研究費から支出されます。また、研究の対象となる患者さんに謝金はありません。この研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。

ご自身の検査結果など研究への使用をご承諾いただけない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 横山 仁 金沢医科大学 医学部 腎臓内科学 教授

研究担当者: 藤本 圭司 金沢医科大学 医学部 腎臓内科学 講師

研究担当者: 加賀谷 侑 金沢医科大学 医学部 腎臓内科学 医師

住所: 石川県河北郡内灘町大学 1-1 TEL 076-286-2211(内線:3403) FAX 076-286-2786

※ご連絡の際には、お名前/金沢医科大学病院の診察券番号/拒否する研究のタイトルをお知らせください。